株式会社ファンケル

第21期 事業報告書

平成12年4月1日~平成13年3月31日 (連結ベース)





ファンケルグループの 事業内容



- 健康補助食品[高品質・国際標準価格を実現した健康食品]
- 美容補助食品 [体の中から美しさに働きかける健康食品]

contents

ファンケルグループの事業内容 ····· 1
連結の状況 ······· 1
株主のみなさまへ 2
化粧品関連事業 4
健康食品関連事業6
その他事業 8
トピックス10
連結決算の状況12
単独決算の状況15
業績の推移16
株式の状況17
役員17

連結の状況

(株)アテニア

• アテニア化粧品の販売

その他事業

- 快適生活事業
- 発芽玄米事業
- 青汁事業
- ニューシニアビジネス

化粧品関連事業

- ファンケル化粧品 [肌アレルギーを起こすおそれのある 成分を含まない化粧品]
- アテニア化粧品 [高品質かつ低価格の化粧品]

38.8% 54.6%

(株)ファンケル

- ファンケル化粧品の製造・販売
- 健康食品の販売
- その他事業

ニコスター(株)

- アテニア化粧品の製造
- 健康食品の製造

(株)エヌ・ジー・シー

衣料・雑貨等の通信販売

1



••• 今期の業績について

株主のみなさまには日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

当期(平成12年4月~平成13年3月)の連結決算についてファンケルグループ代表 池森賢二より、ご報告申し上げます。

当期の売上高は654億円となり、かろうじて前期を上回ることができましたが、経常利益は88億円となり前期に比べまして26億円の減益となりました。この責任をとり、社長の私は20%の減俸処分、2人の代表取締役は代表権を返上いたしました。このたびの増収減益となった要因といたしましては、健康食品関連事業は引続き好調に推移しましたが、化粧品関連事業が減収減益となったこと、その他事業の赤字幅が拡大したことによります。

化粧品関連事業が減収減益となった理由といたしましては 前期に実施いたしました割引キャンペーンの影響が予想以上に大きかったこと 若年層顧客を同業他社に奪われたこと 既存店舗の売上が減少したこと 顧客数の減少に歯止めをかけ

るため広告宣伝費を積極的に投下したことがあげられます。広告宣伝の効果は下期においてすでに現れてきており、顧客数は回復傾向にあります。店舗については立地条件や顧客層にあわせて既存店舗の活性化をはかってまいます。また、若年層向け化粧品、アンチエイジング化粧品の製品開発に着手し、来春の販売開始にむけて準備をすすめております。

健康食品関連事業は、通信販売、店舗販売に加え、コンビニエンスストア等での売上高も増加しております。特に美容補助食品やオリジナル製品がご好評をいただいております。この事業は、市場全体も拡大傾向にあり、まだまだ伸びると思っておりますので、今後も充実した研究開発体制のもと、独自性の高い製品開発を行ってまいます。

その他事業につきましては、快適肌着の 販売は順調でしたが、発芽玄米、青汁を 来期以降本格化させるため、広告宣伝費 を政策的に増加させました。このことも赤字 幅を拡大させた一因となりました。

• • • 新規事業への取組みについて

私は、ひとつの事業が永遠に続くことはないと思っております。事業には必ず限界があるのです。ですから、ひとつの事業が順調なうちに新しい事業を立上げ、新しいお客様を開拓していかなければ企業として存続できないと考えております。

現在、当グループの事業の柱は「化粧品 関連事業」と「健康食品関連事業」です が、健康食品関連事業は化粧品関連事 業が順調なうちに開始いたしました。もし、 7年前に健康食品関連事業を立上げなかったら、どうなっていたでしょう。また、通信 販売だけに固執し、店舗販売を開始しなかったなら、企業として立ち行かなくなっていたのではないでしょうか。

既存の事業だけやっていれば良いというようなご意見を頂戴することもありますが、新規事業への取組みは、企業が存続していくためには必要不可欠であると考えております。現在手掛けている発芽玄米、青汁の2つの新規事業につきましては一日も早く軌道にのせるべく、積極的に販売拡大に



代表取締役社長 池森 賢二

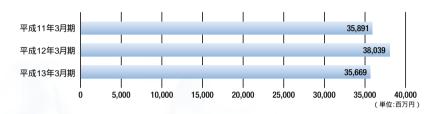
向けて努力してまいます。

以上、株主のみなさまにおかれましては、 当グループの経営姿勢をご理解いたださ、 倍旧のご支援を賜いますようお願い申し上 げます。



Cosmetic Products

• • • 売上高





美白関連製品の充実

平成12年5月に「ホワイトエッセンス」を改良新発売しました。新成分「持続型ビタミンC誘導体」配合で、美白効果が長時間持続します。また、平成12年9月に、紫外線によるダメージの修復機能をもつ「ホワイトリペアクリーム」を新発売しました。夏の紫外線を浴びて元気がない肌を透明感のある肌へと導きます。



マイルドクレンジングオイル 30%値下げ

平成12年9月に「マイルドクレンシングオイル」を1,400円から980円に値下げしました。落ちにくいメークもこすらず楽にしっかり落とせます。肌にやさしい処方でオイルなのにさらっとしていて、べたつきません。平成9年12月の発売以来ご好評をいただいておりましたが、値下げ効果でヒット商品になりました。

Cosmetic Products



コミュニケーションマガジン 「エスポワール」をリニューアル

平成13年1月号から、これまでB5版だった「エスポワール」をA4版に変更しました。大きくなって見やすくなっただけでなく、通信販売ならではの楽しさを味わっていただけるように、内容や構成の充実をはかりました。



販売チャネルの拡大

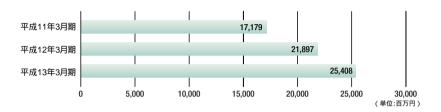
当期中にファンケルハウスを39店舗(フランチャイズ2店舗を含む)開設し、期末店舗数は全国121店舗となりました。アテニアショップは4店舗開設し、期末店舗数は5店舗となりました。

また、平成12年9月より、コンビニエンス ストアローソン 全店で化粧品の販売を 開始しました。



Nutritional Supplements

・・売上高





ダイエットサプリメントを リニューアル

平成12年5月に「パーフェクトスリム」および「カロリミット」を改良新発売しました。適度な運動と正しい食事がダイエットの基本ですが、「パーフェクトスリム」は体脂肪の効率よい燃焼をサポートします。「カロリミット」は糖分や脂肪分の多い食事をしたときにおすすめのサプリメントです。



栄養機能食品「マルチビタミン」 新発売

平成12年8月、1粒で1日の必要量のビタミン11種とカロチンが摂れる手軽な健康食品「マルチビタミン」の販売を開始しました。栄養機能食品とは厚生労働省が定める基準を満たせば効果効能を表示できる食品です。保健機能食品制度の導入により、一部の健康食品についてこれまで禁止されていた効果効能を表示することができるようになりました。

Nutritional Supplements



徳用タイプを新発売

「毎日飲むものだから、毎月買うのがめんどう」、「家族で利用するから容量の多いものが欲しい」というお客さまの声にお応えして、平成12年10月、ほぼ全製品について3ヶ月分を1パックにし、約15%割引した「徳用タイプ」の販売を開始しました。発売以来、多くのお客さまにご好評をいただいております。

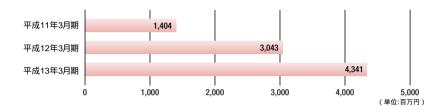


販売チャネルの拡大

当期中に元気ステーション5店舗を出店し、期末店舗数は7店舗となりました。 コンビニエンスストア セブン・イレブン での販売につきましては、テレビCFでの告知を積極的に展開するとともに平成12年9月には女性をターゲットとした美容補助食品の販売を開始いたしました。

• その他事業

• • • 売上高





快適生活事業

快適肌着の販売はファンケル化粧品のお客様を中心に引続き好調に推移いたしました。「ファンケル快適肌着」は、着ごこちのよさと美しく補正する機能をあわせもった肌着です。また、デリケートな肌を守るため、身生地だけでなく、レースや縫糸に至るまでシルクの美肌成分「セリシン」でコーティングしています。



発芽玄米事業

発芽玄米は玄米を0.5~1.0ミリ程度発芽させたもので、玄米より毛栄養価が高く、消化吸収が効率よくできる状態になっています。ほのかに甘くてコクがあり、白米のようなやわらかさのあるごはんです。テレビ番組などで発芽玄米の驚くべき効果がとりあげられ、売上も順調に増加しました。

Others



青汁事業

平成12年1月より実験販売をしていましたが、同年8月よりコンピニエンスストア・スリーエフ・全店で本格販売を開始しました。また、平成13年2月から3月にかけて、中森明菜さんを起用したテレビ CFで積極的な広告宣伝活動を展開しました。中森さんは10年ぶりのCF出演ということもあり大変話題になりました。



ニューシニアビジネス

高齢化が進む日本。当グループでは、 元気なお年寄りが生き生きと生活できる ように高齢者をサポートするビジネスの 展開を考えています。そのひとつとして、 元気な中高年を応援する雑誌「毎日が 発見」を発行しています。定年後の生き 方探しから、ファッション、旅行、グルメ 資産運用まで、ご夫婦で楽しめる企画 が満載です。

トピックス

● ● すらさらタイプ「ファンケル発芽米」新発売

平成13年4月1日にこれまでのウエットタイプの発芽玄米に大幅な改良を加えたさらさらタイプの「ファンケル発芽米」を新発売しました。ウエットタイプは技術的に胴割れやひび割れを起こしやすく、くず米や米ヌカが混じる、熱を使うことで食味の低下を招くという問題がありましたが、当中央研究所は各研究機関の協力を得てこれらの問題を解決しました。さらさらタイプにしたことで保存上の安全性が高まり、取扱いが簡単になりました。また、従来製品のウエットタイプでは技術的に難しかった大型パックの商品化が可能となり、家庭用は勿論、業務用

ニーズにもお応えできるようになりました。「ファンケル発芽米」は普通の炊飯器で白米と混ぜて炊ける、柔らかく甘みがあり香ばしい、ウエットタイプのものより約20%安い、といった特長があります。栄養面はビタミンやミネラル、食物繊維が豊富で、生活習慣病予防に効果があるとされるフェルラ酸、トコトリエノール、イノシトール、IP6(フィチン酸を多く含有しています。また、ギャバ(ガンマ・アミノ酪酸)を始めとする諸成分が体内の脂肪に働きかけ、体脂肪の低下を促進することが日本成人病学会で発表されました。







••• ポイントアップサービスの開始

平成12年9月から"買ってお得、使ってお得"な新サービス「ポイントアップサービス」を開始しました。ファンケル全製品が対象で、

ご購入金額の5%を還元させていただくサービスです。このサービスの開始により、リピート率の向上につながりました。

•••(株)ファンケルスマイルが湿式シュレッダーを導入

(株)ファンケルスマイルは知的障害者が安全で簡単に操作できる、再生紙の循環型リサイクルが可能な「湿式ASシュレッダー」(日立グループが開発・改良)を平成13年4月より導入しました。機械および改造費用は障害者雇用給付制度に基づぐ「障害者作業施設設置等助成金」の適用を全国で初めて受けました。(株)ファンケルスマイルは知的障害者の雇用促進を目的に平成11年2月に設立された(株)ファンケル100%の特例子会社です。17名の従業員は全員が知的障害者で、ダイレクトメールの封入や封

緘、発送作業、商品梱包、コピーサービス 名刺制作が主な仕事です。これに今回、 湿式ASシュレッダーでの紙情報の廃棄作 業が加わりました。株式会社形態にしたの は、単に法律に規定されている障害者雇 用の責務を果たせば良い、という消極的な 発想ではなく、障害者の能力を高めること で仕事の範囲を広げ、経営として成り立つ ことを実践することで、他企業でも障害者 雇用の拡大に向けてより積極的な取組み がなされればと願っているからです。





••• **国際規格**ISO9001認証取得

平成12年11月17日に当グループは、より一層、製品・サービスの品質管理を徹底し、お客さまからの更なる信頼を得るため、品

質マネジメントシステムの国際規格ISO9001 の認証を取得しました。

連結決算の状況

連結貸借対照表

連結貸借対照表		(単位:百万円))
科目	前 期 (平成12年3月31日現在)	当 期 (平成13年3月31日現在)	
	金額	金額	
(資産の部)			
流 動 資 産	38,221	41,701	
現 金 及 び 預 金	14,074	16,224	
受取手形及び売掛金	5,377	7,936	
有 価 証 券	14,053	11,723	
たな卸資産	3,917	4,758	
その他流動資産	797	1,057	
固 定 資 産	29,436	33,780	
有 形 固 定 資 産	22,242	23,056	
建物及び構築物	9,632	9,244	(株)エヌ・ジー・シーが連結子会社 となったことにより連結調整勘定
その他有形固定資産	12,609	13,812	14億円が発生
無形固定資産	1,664	3,048 •—	11010100
投資その他の資産	5,529	7,674	子会社((株)毎日が発見ドットコ
投資有価証券	479	1,398	A, FANCL ASIA(PTE)LTD,
長期貸付金	671	1,584	(株)ファンケル発芽玄米)に対す
保 証 金	1,796	2,397	る投融資および店舗出店に伴う
その他の投資その他の資産	2,582	2,293	保証金の発生により、増加
資 産 合 計	67,657	75,481	
(負債の部)			
流動負債	9,002	13,244	
支払手形及び買掛金	1,307	3,859	
短 期 借 入 金	-	1,170	
その他の流動負債	7,695	8,215	
固 定 負 債	3,509	2,754	借入金の返済により、減少
長 期 借 入 金	1,916	1,092	
その他の固定負債	1,593	1,661	
負 債 合 計	12,511	15,999	
(資本の部)			
資 本 金	10,791	10,795	
資 本 準 備 金	11,702	11,706	
連 結 剰 余 金	32,653	36,977	
その他有価証券評価差額金	-	5	
自 己 株 式	1	2	当期純利益の48億円の計上によ
資 本 合 計	55,146	59,482	り、増加
負債・資本合計	67,657	75,481	

当期より((株)エヌ・ジー・シーが新たに連結子会社になりました。同社を連結したことによる、 資産合計および負債・資本合計に与える影響額は4,196百万円であります。

連結損益計算書

(単位:百万円)

~		(+	班・口/1111/	
科目	前 期 (平成11年4月1日から (平成12年3月31日まで)	当 期 (平成12年4月1日か 平成13年3月31日ま		
	金額	金額	伸び率	化粧品の売上は前期を
			%	下回ったが、健康食品、
売 上 高	62,980	65,418	3.9	発芽玄米等の売上が増
売 上 原 個	18,011	18,383		加したため、前期比
売 上 総 利 🗟	44,969	47,034		3.9%增加
広告 宣伝 費	6,080	8,895	-]
販 売 促 進 費	5,614	5,810		
荷 造 運 賃	3,272	3,170		積極的な広告宣伝活動
通 信 費	3,030	2,592		を行ったため、広告宣伝
手 数 料	3,480	4,309		費が前期より28億円増加。業務の一部をアウト
給 与 手 当	4,348	4,896		ソーシングしたことにより
減 価 償 却 費	1,267	1,371		手数料が増加
その他の販売費及び一般管理費	6,330	7,355		
販売費及び一般管理費	33,425	38,402	14.9	販売管理費の増加によ
営 業 利 益	11,543	8,632	25.2	リ、前期比25%減少
営 業 外 収 🗟	677	819		X 1000010020 701140
営 業 外 費 用		601		会計基準の変更(退職
経 常 利 益	11,523	8,849	23.2	給付会計)による差異
特 別 利 🖆	-	67	•	一 6千万円
特別損 失	119	198	•	
税金等調整前当期純利益	11,404	8,718	23.6	固定資産除売却損 1億
法人税、住民税及び事業科	4,789	3,750		円、ゴルフ会員権の評
法 人 税 等 調 整 額		100		価損7千万円
当期 純利益	6,723	4,867	27.6	
				以上の結果、当期純利 益は前期比27%減少

●●● 連結決算の状況

\bullet

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	前 期 (平成11年4月1日から平成12年3月31日まで)	当 期 (平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
連結 剰余金期首残高		
連結剰余金期首残高	25,895	32,653
過年度税効果調整額	477	-
合計	26,373	32,653
連結剰余金減少高		
配当金	422	543
役 員 賞 与	19	-
(うち監査役分)	(2)	(-)
合計	442	543
当 期 純 利 益	6,723	4,867
連結剰余金期末残高	32,653	36,977

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

		(+12.17)
科目	前 期 (平成11年4月1日から平成12年3月31日まで)	当 期 (平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	11,404	8,718
収益・費用の非資金	2,180	2,209
資産・負債の増減額	2,542	1,521
小	11,042	9,405
法 人 税 等 の 支 払 額	5,696	3,980
そ の 他	335	658
合計	5,681	6,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
設 備 投 資	5,933	3,028
そ の 他	1,802	1,809
合 計	7,736	4,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,006	1,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3
現金及び現金同等物の増加額	10,948	161
現金及び現金同等物期首残高	17,160	28,109
現金及が現金同等物期末残高	28,109	27,947

●●●単独決算の状況

. . .

貸借対照表

(単位:百万円)

		科	ŀ	目			前 期 (平成12年3月31日現在)	当 期 (平成13年3月31日現在)
(資	産		の	部)		
流		動		資		産	32,483	33,418
固		定		資		産	27,695	30,276
	有	形	固	定	資	産	19,768	20,148
	無	形	固	定	資	産	1,630	1,541
	投	資そ	の	他	の資	産	6,297	8,586
資		産		合		計	60,179	63,695
(負	債		の	部)		
流		動		負		債	8,243	8,789
固		定		負		債	3,440	2,417
負		債		合		計	11,683	11,206
(資	本		の	部)		
資			本			金	10,791	10,795
資		本	準		備	金	11,702	11,706
利		益	準		備	金	188	243
そ	の	他	の	剰	余	金	25,813	29,738
そ	の他	有 価	証券	評 1	西差額	金	-	5
資		本		合		計	48,496	52,488
負	債	· j	₹ 2	\$ 0	0 合	計	60,179	63,695

損益計算書

(単位:百万円)

前 期 科 目 (平成11年4月1日から平成12年3月31日まで)	当 期 (平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)		
金額	金額伸び率		
	%		
売 上 高 56,169	58,824 4.7		
売 上 原 価 16,175	17,014		
売 上 総 利 益 39,993	41,809		
販売費及び一般管理費 29,939	34,075 13.8		
営 業 利 益 10,054	7,733 23.1		
営 業 外 収 益 685	1,040		
営 業 外 費 用 686	559		
経 常 利 益 10,053	8,214 18.3		
特別利益1	61		
特 別 損 失 85	183		
税 引 前 当 期 純 利 益 9,969	8,092 18.8		
法 人 税 、住 民 税 及 び 事 業 税 4,131	3,479		
法 人 税 等 調 整 額 88	89		
当 期 純 利 益 5,925	4,523 23.7		
前 期 繰 越 利 益 298	383		
過 年 度 税 効 果 調 整 額 648	•		
中 間 配 当 額 144	243		
中間利益準備金積立額 14	24		
当期未処分利益 6,713	4,638		

利益処分計算書

(単位:百万円)

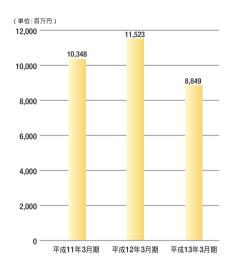
		科	‡ E	1			前 期 (平成11年4月1日から平成12年3月31日まで)	当期 (平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
当	期	未	処	分	利	益	6,713	4,638
利	i	iii	処		分	額		
	利	益	準		備	金	29	24
	利	益	配		当	金	299	243
	別	途	積		立	金	6,000	4,000
	次	期	繰	越	利	益	383	370
	合					計	6,713	4,638

業績(連結)の推移

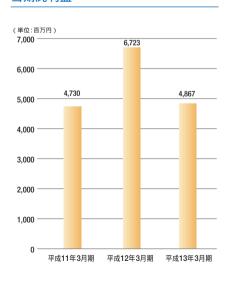
売上高



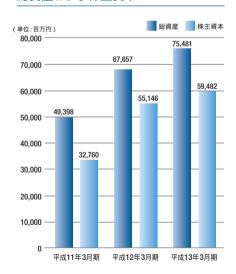
経営利益



当期純利益



総資産および株主資本

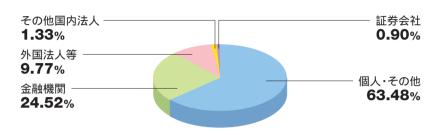


株式の状況

● ● (平成13年3月31日)

会社が発行する株式の総数 発行済株式の総数 株主数 77,946,000株 19,493,500株 16,710名

株主構成比率



2000 役員

● ● (平成13年6月23日)

代表取締役社長 池森賢 ш 本 尚 代表取締役専務 田多井 毅 代表取締役専務 取締役副会長 池 森 政治 孝夫 分 常務取締役 ΕV 成 松 義 文 取締役 克 彦 取締役 松 本 和 美 取締役 宮 島 藤 田 紘 _ 取締役 畄 \blacksquare 隆 吉 取締役

治 常勤監查役 望 月 恒 管 林 蓵 隆 常勤監查役 小 閗 榺 紀 非常勤監查役 執行役員 石 田 隆 男 田 久 執行役員 与 尚 宮 原 修 司 執行役員

株主メモ

決算期日 3**月**31**日**

定時株主総会 6月下旬基準日 3月31日1単位の株式数 100株

名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号

東洋信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都江東区東砂七丁目10番11号

東洋信託銀行株式会社

証券代行部 TEL.03-5683-5111

同取次所 東洋信託銀行株式会社 全国各支店

公告の方法 日本経済新聞に掲載

FANCL

株式会社ファンケル

〒247-8577 横浜市栄区飯島町109-1 TEL.045(894)1111(大代表) http://www.fancl.co.jp/